

# 進路「夢」実現



進路だより 第1号  
令和6年6月7日発行  
大笹生支援学校キャリア支援部

## 校長あいさつ

校長 西牧 辰典



新型コロナウイルス感染症は5類へと移行し、学校の教育活動は、感染拡大前の日常を取り戻しております。元気に活動する子どもたちの様子から、改めて学校が通常通りに機能していることのうれしさを子どもたちと共に教職員一同感じているところです。

さて本校では、高等部卒業後の進路先を決めていく上で、事業所や企業等での産業現場等における実習を行っています。生徒がやりがいをもって意欲的に取り組むことができるよう、自分の特性を生かせる実習を探っていきます。生徒自身の自己理解から始まり、今までの学習の成果をどう生かしていくか、目標を設定しながら具体的な取組を決めていくことが大切です。また、事業所や企業での仕事や働き方のニーズにどう答えられるかということも進路を決定する上では、欠かせないところです。

今年度も小学部、中学部、高等部と一貫したキャリア教育を計画的に進めていきます。小学部から地道な積み重ねではありますが、小さなことでも「できる」ことからの「自信」はやがて大きな成長になり進路の「夢」が実現することになります。

これからの社会がどのように変化していくのか予想することが難しいところですが、学校教育においては、いつの時も一人一人の能力を伸ばしていくことが最大限の目標であります。それを実践する中で、社会の変化に対応できる力も培うことができるよう教職員一丸となって取り組んでいきます。

児童生徒の卒業後の自立と社会参加に向け、家庭や関係機関、並びに地域の皆様の御協力と御支援を今後ともよろしく願いいたします。



## 高等部 産業現場等における実習が始まります！

高等部主事 二階堂俊介

新学期がスタートして2ヶ月が経過し、1年生も新しい高等部生活に慣れてきたようです。6月に入り、高等部の大きな学習活動のひとつでもある「前期産業現場等における実習」（通称：現場実習）が始まります。1年生を中心とした校内での実習と、2、3年生を中心とした校外での実習となり、期間は6月10日（月）から6月21日（金）までの2週間となります。

校内での実習は、企業様より材料を御提供いただき、菓子用箱の組立・納品を行う「箱折り班」と、喫茶接客サービスの技術の習得と会議等でのサービスの実践を行う「サービス班」、店舗販売を仮想して品出し等の技術の向上を目指す「品出し班」、牛乳パックやシュレッダーごみを再利用してリサイクル製品を作製する「リサイクル班」の4つの班に分かれての活動となります。また、2、3年生を中心としての校外での実習は、多くの企業様や福祉サービス事業所様の御協力のもと、実習を実施させていただく予定です。

産業現場等における実習を通して、働くことや社会生活を送るために必要なことを実際に学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し、卒業後の進路実現を図ることを目指しています。

保護者の皆様にはお子様の進路実現に向けた目標が達成できますよう励ましの言葉や実習に際しましての御協力をお願いいたします。

### 昨年度の現場実習の様子



コープマート



あづま授産所



クリーン活動班



カレンダー班



シール加工班



リサイクル班

# 卒業生体験発表会に参加して

◎ 5月21日(火)に「卒業生体験発表会」を開催しました。参加した生徒や保護者の方の感想をお伝えします。

高等部3年 S・A

卒業生のお二人の先輩においでいただきました。お二人は一昨年卒業生なので、社会人2年目です。私も来年には、社会に出て働く立場になるので、実際に社会で働くことや、社会人としての生活についてたくさんの方が勉強できると思い、お二人の話が聞けることを楽しみにしていました。

お二人のお話をお聞きして、私は働くことの楽しさと厳しさについて学ぶことができたと思います。そして働くために必要なことを先輩方は具体的に教えてくださいました。

1つ目は「挨拶、返事、敬語」です。私は、だいたいはできていると思いますが、時々、敬語ではなくなってしまうので、今後は敬語を意識して卒業まで生活していきたいと思います。

2つ目は「体力」です。私は、体力はあるほうですが、これからの生活でトレーニングや保健体育、部活動で意識しながら、さらに、体力をつけていきたいと思います。

今日のお話の中で、先輩方も進路決定までには、不安な気持ちをもっていただけということが分かりました。私たちも今とても不安ですが、先輩方もそんな不安と闘って今があるのだと思うと、とても励まされました。

卒業後には、大笹生の卒業生として立派に社会参加していけるように、今回の先輩方のお話を胸に、頑張っていきたいと思います。

高等部2年生保護者

卒業生体験発表会には初めて参加しました。

始めにスーパーでの厨房での総菜のパック詰めや調理、次に就労継続支援B型事業所で飲食店に卸す野菜を包丁でカットする先輩方のVTRを見せていただきました。黙々とテンポ良く丁寧に包丁を動かし、上司に大きな声でしっかりと報告する姿から、卒業生のお二人の素直で真面目な人柄を感じました。

卒業生のお二人の在籍中の様子を知る先生方によると、素直で責任感があり、先生の提案を受け入れて、苦手なことにも挑戦していたとのこと。多くの人と共に円滑に仕事をするためには積極的な姿勢が重要であると改めて感じました。

高等部で学んで良かったことと在籍生へのアドバイスは「挨拶や返事をしっかりすること」「体力をつけること」とお二人そろって話をされていました。

実習とは違い、一人の大人として扱われる等、社会人として働く厳しさを感じている一方で、休憩時には仲間たちとの会話、休日には音楽鑑賞・ゲーム・買い物・外食などを楽しんでいること、貯金もしていること等の話から、働く喜びを得られていることが分かり、安心しました。

## 進路希望調査の集計結果から

### 高等部 進路希望状況

(1学年 41名 2学年 31名 3学年 30名 全102名)

希望内容	1年(人)	2年(人)	3年(人)	合計希望数(人)	希望率(%)
進学	0	0	0	0	0
企業就職	13	7	8	28	27.4
福祉就労	13	17	18	48	47.0
どのような進路を選択するか考慮中	10	6	4	20	19.6
その他	0	1	0	1	0.9
未定・無回答	5	0	0	5	4.9

(令和6年5月28日現在)

日頃より、進路に関する行事等にご協力いただきましてありがとうございます。  
3月に高等部2、3学年の生徒、4月に1学年の生徒を対象に進路希望調査を実施しました。これをもとに、現場実習や卒業後の進路について考えながら、学校、家庭、関係機関と連携していきたいと思えます。

また、今年度より、全学部で一人一人の児童生徒についてキャリアパスポートを作成しました。児童生徒の目標達成に向けて活用していきたいと思えます。

進路に関する行事としましては、9月には、進路座談会、10月には、保護者対象の事業所見学会、11月には、保護者進路研修会を予定しております。ぜひ、お子様の進路について考える上での参考にいただければと思えます。

キャリア支援部 進路指導主事 八巻 美貴

## 新規・リニューアルの事業所紹介

JWS げんきワーク  
二本松駅前店 (新規)  
〈就労継続支援 A 型〉

住所：二本松市本町2-1  
97-1  
電話：0243-24-  
7455

福島・伊達精神障害福祉会  
「ひびきの会」  
ワークショップろんど  
(リニューアル)  
〈就労継続支援 B 型〉

住所：福島市野田町2丁目  
5-9  
電話：024-563-3304

社会福祉法人 つどい  
ほっとライフ  
(リニューアル)  
〈生活介護〉

住所：福島市吉倉字松木内  
11-1  
電話：024-563-  
5030